

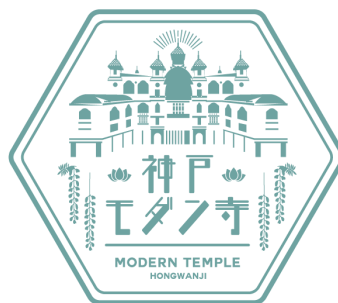
モダン寺で聞く 仏教講座

毎月
第1土曜
の

特別協力Ⅱ 浄土真宗本願寺派総合研究所



2023. 5/6 → 12/2



インド仏教様式の斬新なデザインは、
昭和五年に建てられた
旧寺院より受け継がれたもので、
昔から今日まで神戸の人々に
モダン寺の呼称で親しまれています。
斬新な発想は本堂も同様に、
お宮殿・お厨子はすべて総金箔。
欄間やその他のお仏具には彫刻を施し、
柱は御影石を模した独特の様式の内陣です。
この機会にぜひお参りください。

モダン寺 本願寺神戸別院

〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号

- 阪急「花隈駅」西口より徒歩1分
- 阪神「西元町駅」東口より徒歩5分
- JR「神戸駅」より東へ徒歩15分
- お車でもお参りください。



駐車場
ございます。

お問い合わせ

TEL 078-341-5949

FAX 078-341-8526

モダン寺

検索

<https://hongwanji-kobe.jp>

初めて学ぶ

「親鸞聖人のお手紙」

親鸞聖人が門弟に送られたお手紙（『親鸞聖人御消息』）には、
浄土真宗の教えがやさしく丁寧に記されています。

全6回



二〇二三年度

モダン寺で聞く 仏教講座

毎月
第1土曜
の

特別協力 = 浄土真宗本願寺派総合研究所

第1回 5/6(土) 初回

第一通 — 今ここでの救い

第一通は親鸞聖人が79歳の時のお手紙で、浄土真宗においては、臨終に阿弥陀仏のお迎えを期待する必要があることが記されています。その理由を、皆さんと一緒に読み解いていきたいと思います。



講師 西河 雅人 (にしがわ まさと)

親鸞聖人と同じ京都生まれで、聖典普及に従事しています。還暦をとくに過ぎましたが、新しいことにチャレンジする精神はくさないうががんばっています！

第2回 6/3(土)

第六通 — 浄土真宗のころ

第六通は門弟の疑問にお答えになったもので、背景には親鸞聖人の子息・善鸞が誤った教えを説き、門弟たちを混乱に陥れた「善鸞事件」の存在が指摘されています。それだけに、ここには浄土真宗を学ぶ上で間違えてはいけない大事なことが述べられているのです。



講師 八橋 大輔 (やつはし だいすけ)

聖典普及にたずさわっています。神戸はお世話になった方がたくさんいらっしゃる大切な街です。全力でがんばります！

2023. 5/6(土) → 12/2(土)
※8月・9月は休座

毎月
第1土曜

時 間： 13:30~15:30
場 所： モダン寺
1 講座： 1,000円

申込み不要

第3回 7/1(土)

第三十通 — 真実の信心

第三十通では、「しのぶの御房」から尋ねられた「摂取不捨」について、釈尊と阿弥陀仏のおはたらきにより「まことの信心」が定まることが示されます。私たちが浄土に往生するうえで欠かせない真実の信心について、釈尊と阿弥陀仏の関係からうかがってみましょう。



講師 那須 公昭 (なす きみあき)

岡山の間部にある寺院出身、イカナゴとそばめしが大好きです。仏教を楽しく味わうことをモットーとしています。みなさんと楽しいひとときを過ごせたらありがたいです。

第4回 10/7(土)

第二十一通 — 阿弥陀さまからのおくりもの

仏教は私が仏になる教えですが、浄土真宗ではどのようにして仏となるのでしょうか。親鸞聖人はこのお手紙の中で、浄土真宗という仏道の大枠をお示しくださっています。阿弥陀さまが、この私を救うためにご用意くださった道について、ご一緒に学ばせていただきます。



講師 林 龍樹 (はやし りゅうじゅ)

聖典のデジタル化事業や、各種出版物の編集などのお仕事をさせていただいております。よろしくお願いたします。



学ぶことはお楽しみです。
ゆつくり楽しく学びましょう。

第5回 11/4(土)

第二十六通 — 浄土で必ず待つ

「念仏を称えて浄土に往生すると信じる人は浄土に往生することができないのでしょうか？」という念仏往生についての疑問を尋ねたお弟子の有阿弥陀仏に対し、親鸞聖人は慈愛に満ちた懇切なお便りを返されたのでした…。



講師 田中 真 (たなか まこと)

伊吹山の麓に建つ私のお寺の近くには、名水百選に数えられる「美味しい水」の水源があります。デジタル聖典や儀礼に関する業務を担当する、「洗車」が趣味の55歳です。

第6回 12/2(土) 最終回

第十六通 — 愚者になりて往生す

第十六通は最晩年のお手紙で、ここには浄土真宗の強みが詰まっているように思います。浄土往生のためには、仏教をよく知り、深く理解することが必要なのでしょうか。また、死に方も問題になるのでしょうか。改めて浄土真宗・浄土教の意義を味わってみたいと思います。



講師 野村 淳爾 (のむら じゅん)

神戸の餃子を食べることが何よりの楽しみです。お気に入りはずっと変わらず「ひょうたん」です。